

2025年12月17日
公益財団法人日本陸上競技連盟

オレゴン2026 U20世界陸上競技選手権大会
日本代表選手選考要項

1. 編成方針

世界で活躍できるU20カテゴリートップレベルの競技者を派遣する。
金メダルの獲得を目指す選手団を編成する。

2. 開催地

オレゴン（アメリカ）

3. 開催期間

2026年8月5日（火）～9日（土）

4. 実施種目（エントリー枠：各種目2名）

（1）男子

100m、200m、400m、800m、1500m、3000m、5000m、110mH(99.1cm)、400mH(91.4cm)、
3000mSC、5000m競歩、4×100mリレー、4×400mリレー、
走高跳、棒高跳、走幅跳、三段跳、砲丸投(6kg)、円盤投(1.75kg)、ハンマー投(6kg)、
やり投(800g)、十種競技

（2）女子

100m、200m、400m、800m、1500m、3000m、5000m、100mH(83.8cm)、400mH(76.2cm)、
3000mSC、5000m競歩、4×100mリレー、4×400mリレー、
走高跳、棒高跳、走幅跳、三段跳、砲丸投(4kg)、円盤投(1 kg)、ハンマー投(4kg)、
やり投(600g)、七種競技

（3）混合

4×100mリレー、4×400mリレー

5. 選考基準

編成方針に基づき、ワールドアスレチティックス（以下WA）が定める本大会の参加資格*を満たし、WRk対象競技会において2025年10月1日から2026年6月22日までに参加標準記録*を突破している日本国籍競技者の中から、各種目、下記の優先順位で日本代表選手を選考する。

*Qualification System and Entry Standards : [リンク](#) 参照。

（1）個人種目

1) 2026年1月1日から6月22日までの記録（WRk対象競技会に限定しない）において、2026年U20世界トップリスト（1か国2名）の8位相当にあたる記録保持者。

2) 2025年9月27日から2026年6月22日までの記録（WRk対象競技会に限定しない）において、2026年U20世界トップリスト（1か国2名）の上位者。

3) 本大会においてメダル獲得が期待され、強化委員会強化育成部が推薦する競技者。

※WAのSeason Top Lists (U20世界トップリスト) : [リンク](#)

※同記録が生じた場合、2026年度のセカンド記録（サード記録以降も同様）を比較して選考する。

※U20規格とシニア規格で異なる種目（男子の110mH、砲丸投、円盤投、ハンマー投）は、U20規格で選考する。

※十種競技は、シニア規格とU20規格両方のトップリストを見るが、同順位となった場合は、U20規格を優先する。

※競歩は、10kmW、5kmW、10000mW、5000mWのトップリストを見るが、同順位となった場合は、リザルトスコアの高い競技者を優先する。

(2) リレー種目

個人種目のエントリー状況を鑑みて、編成方針に準じて日本代表チームの派遣を検討する。派遣する場合は、下記の基準でエントリーの検討、および、日本代表選手を選考する。

1) 男女4×100mリレー、混合4×100mリレー

エントリー検討基準：男女それぞれの100m, 200mにおいて、2名以上日本代表選手がいる

リレー要員選考基準：2026年1月1日から6月22日までの記録（WRk対象競技会に限定しない）の上位者。

2) 男女4×400mリレー、混合4×400mリレー

エントリー検討基準：男女それぞれの200m, 400m, 400mHにおいて3名以上代表選手がいる

リレー要員選考基準：2026年1月1日から6月22日までの記録（WRk対象競技会に限定しない）の上位者。

※同記録が生じた場合、2026年度のセカンド記録（サード記録以降も同様）を比較して選考する。

6. 選考方法

選考基準に則り強化委員会強化育成部による選考会議にて選考原案を作成し、専務理事の承認をもって決定する。

7. 選考の対象となる資格記録

本選考要項内で用いる資格記録の有効期間は、本大会参加標準記録の有効期間開始日から、選考競技会当該種目終了時点までとする。

8. エントリーについて

- (1) 対象者は、2026年12月31日時点で16歳、17歳、18歳または19歳の2007年から2010年生まれの競技者。
- (2) 参加標準記録の有効期間は、2025年10月1日から大会3週間前まで。
- (3) ワールドランキングコンペティション（WRk対象競技会）での記録のみが参加標準記録の対象となる。
- (4) 各種目最大2名の競技者が出場することができる（リレーは除く）。
- (5) U18競技者（2009年または2010年生）が出場できる種目数は最大で個人2種目といずれかのリレー1種目までとする。そのうち200mを超える種目は、リレーを含み2種目までとする。
- (6) トラック競技の混合競技による記録は認められない。（競歩は除く）
- (7) 追い風参考記録（風速+2.0m/秒超）は認められない。
- (8) 室内記録は、エントリー記録として認められる。
- (9) 手動計時による記録は、800m以下の種目では、エントリー記録に認められない。
- (8) 競歩は、道路における記録も認められる。
- (9) ショートトラックでの記録は認められる。（室内含む）
- (10) 200m以上の競走種目において、オーバーサイズトラックで達成された記録は、認められる。

9. その他

- (1) 代表選手は、編成方針及び選考基準に則って選考されるが、その派遣人数はWAが定めるエントリー数の上限の枠を保証するものではない。
- (2) 代表選手は本連盟または大会主催団体が定める義務及びその他必要事項を遵守するものとする。
本連盟が定める日本代表選手等に関する規程（参考）：
 - ・[日本代表選手等の肖像等に関する規程](#)
 - ・[日本代表選手等の公式衣類に関する規程](#)
 - ・[日本代表選手等に関する行動規範](#)
- (3) 下記の項目に該当する場合は、代表を取消すことがある。
 - 1) アンチ・ドーピング規則に反した場合
 - 2) 故障等により、競技力を発揮できない事態が生じた場合
 - 3) 前記（2）を遵守しない場合
- (4) 代表選手は、選考後のトレーニング状況を報告すると共に、医事委員会がメディカルチェックの必要があると判断した場合は、応じる義務を負うものとする。
- (5) 天災、疫病の流行、社会情勢、主催者の指示等の理由により、選考基準、本大会への派遣について、専務理事の決定において変更することができる。

以上